

2017 年度第 3 四半期決算

参考和訳

プレスリリース

2017 年 10 月 31 日、パリ発

営業収益は若干の減少
(当四半期の不利な為替変動の影響)

営業収益：前年同期比 **-1.8%**

(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと安定推移)

業務効率改善策が奏功しコストを着実に抑制

前年同期比：**-1.2%**

(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと **+0.4%**)

リスク費用は大幅減少

前年同期比：**-12.6%** (36 bp*)

SBI LIFE の新規株式公開で成功を収める

キャピタルゲイン：**3 億 2600 万ユーロ****

四半期純利益は大幅増益

株主帰属純利益：**20 億ユーロ** (前年同期比 **+8.3%**)

エクイティ **TIER1** 比率が引き続き上昇***

11.8% (2017 年 6 月末現在 11.7%)

高い利益水準

* リスク費用 ÷ 期首顧客向け融資残高 (年率換算後のベースポイント) ; ** SBI LIFE に対する 4% 持分を 1 株当たり 700 ルピーで売却し ; *** 2017 年 9 月末現在、資本要求指令 4 (CRD4) を全面適用した比率



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world

2017年10月30日にBNPパリバの取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長をつとめるなか、当グループの2017年度第3四半期の業績が検討されました。

高い利益水準

BNPパリバ・グループは、欧州の経済環境が改善するなか、当四半期も順調に事業開発で成果を上げましたが、第3四半期の相場は市場業務にとって不利な環境となりました。

営業収益は当四半期に103億9400万ユーロとなり、前年同期と比べて1.8%の減収でした。これには不利な為替相場が影響していましたが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期からほぼ安定推移しました(-0.1%)。当四半期の営業収益には、一時項目として当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額(Own Credit Adjustment: OCA)およびデリバティブに関わる債務評価調整額(Debt Value Adjustment: DVA)が合計で+2100万ユーロ含まれていたのに対し、前年同期には-2億200万ユーロが含まれていました。

事業部門全体の営業収益は底堅く推移したものの、前年同期比2.5%の減収となりました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.7%)。これを部門別にみると、国内市場部門¹では、事業開発が順調に進んだものの低金利環境の影響で、営業収益は0.1%の微減となりました。国際金融サービス部門では、営業収益は3.4%²の着実な伸びを果たしました。ホールセールバンキング事業(CIB)では、不利な市場環境を受けて前年同期比8.5%の減収となりました。

営業費用は、当グループ全体で71億3300万ユーロとなり、前年同期と比べて1.2%減少しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.4%)。当四半期の営業費用には、買収に関わる一過性の事業再編費用³として1700万ユーロが含まれていたのに加え(前年同期は3700万ユーロ)、事業改編費用として2億500万ユーロが含まれていました(前年同期は2億1600万ユーロ)。

事業部門全体では、コスト節減策が奏功し、当四半期の営業費用は前年同期と比べて1.2%減少しました。これを部門別にみると、事業改編計画が早くも2016年に始動したCIBでは、前年同期と比べて6.2%減少しました。国内市場部門¹では、専門的金融業務の開発を受けて前年同期比1.2%増加しました(ただし、FRB、BNL bcおよびBRBだけをとると、平均で0.1%減少)。また、国際金融サービス部門の営業費用は、取引の増加を受けて前年同期比4.3%⁴増加しました。

その結果、当グループの営業総利益は前年同期と比べて3.3%減少し(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.1%)、当四半期は32億6100万ユーロとなりました。なお事業部門全体では、前年同期比4.6%減少しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-2.7%)。

リスク費用は当四半期に低水準に留まり、6億6800万ユーロで(前年同期は7億6400万ユーロ)、顧客向け融資残高の36bp相当でした。これは前年同期比12.6%の減少を意味しますが、とりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、および、イタリアで優良法人顧客向け融資の見直しが奏功し、引き続き状況が改善したことを反映しています。

当四半期の営業利益は、グループ全体で25億9300万ユーロとなりました(前年同期は26億800万ユーロ)。前年同期との比較では、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むベースで0.6%の微減でしたが(事業部門全体では-1.7%)、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比1.5%増加しました(事業部門全体では+0.2%)。

営業外項目は、当四半期に3億8000万ユーロとなりました(前年同期は1億7200万ユーロ)。当四半期

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含む(PEL/CELの影響を除く)

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-0.5%)

³ 特にLaSer、BGZ銀行、DABバンク、およびGeneral Electric LLDが影響

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+0.5%)

の営業外項目には、SBI Life¹の新規株式公開（IPO）に伴うキャピタルゲイン 3 億 2600 万ユーロが一時要因として含まれています。一方、トルコ経済減速の影響を受けて、TEB に関わるのれんの全額を減損処理したことから、1 億 7200 万ユーロのマイナス要因も含まれています。

これらを受けて、当四半期の税引前利益は 29 億 7300 万ユーロとなり（前年同期は 27 億 8000 万ユーロ）、前年同期と比べて 6.9%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.1%）。なお事業部門全体では、当四半期の税引前利益は前年同期比 10.3%の増加を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.7%）。

以上から、当四半期の株主帰属純利益は 20 億 4300 万ユーロとなり、前年同期比 8.3%の増益でした。なお一時項目を除くと²、当四半期の株主帰属純利益は 20 億 4500 万ユーロになります（前年同期比-6.7%）。

2017 年 9 月末現在、バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率³は 11.8%となりました（2017 年 6 月末現在は 11.7%）。バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率⁴は、2017 年 9 月末現在 4.1%となり、流動性カバレッジ比率は 111%でした。さらに、グループの即時利用可能な余剰資金は 2017 年 9 月末現在で 3240 億ユーロに上りましたが、これは短期資金調達との関係で 1 年超の余裕資金があることを意味します。

1 株当たり純資産額は 2017 年 9 月末現在で 74.3 ユーロとなり、2008 年 12 月末からの年平均成長率（CAGR）は 5.7%に相当します。これは当グループが、景気局面を通して継続的に企業価値を創造する能力を有していることを証明しています。

当グループは、2017-2020 年度事業開発計画を積極的に実施しています。同計画は、新たなカスタマーエクスペリエンス、デジタル変革、業務効率の向上などを目指す意欲的なプログラムです。グループはまた、内部統制およびコンプライアンス体制の強化を継続しています。さらにグループは、倫理的な方法で経済に資金を供給するとともに、従業員の育成や啓蒙を通して気候変動に立ち向かうことを目標に、意欲的な社会参画の方針を実施中です。その一環としてグループは、シェールガスやシェールオイル、オイルサンドの生産・取引を主要事業とする企業やインフラストラクチャー、あるいは北極圏における石油やガスの探鉱・生産を目的とするプロジェクトへの資金供給を停止する方針を、先日発表しました。

*
**

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益は 326 億 2900 万ユーロに上り、前年同期と比べて 0.4%の増収でした（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.3%）。当第 3 四半期累計期間の営業収益には、一時項目として当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務評価調整額（Debt Value Adjustment: DVA）が合計で -1 億 8600 万ユーロ（前年同期は-4100 万ユーロ）含まれていたのに加え、新韓金融持株会社株およびユーロネクスト株の売却による譲渡益が合計で+2 億 3300 万ユーロ含まれていました。なお、前年同期の営業収益には、VISA ヨーロッパ株の売却益+5 億 9700 万ユーロが含まれていました。

事業部門全体の営業収益は、当第 3 四半期累計期間に前年同期比 2.3%の増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.1%）。これを部門別にみると、国内市場部門⁵では、低金利環境によるマイナス影響を順調な事業開発の成果が一部打ち消し、前年同期比 0.2%の微減となりました。一方、国際金融サービス部門では前年同期比 4.5%⁶の増収となり、また CIB では 5.0%の増収を果たしました。

営業費用は当第 3 四半期累計期間に 223 億 2300 万ユーロに上り、前年同期と比べて 1.8%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.5%）。当第 3 四半期累計期間の営業費用には、買収に関わる一過性の事業再編費用⁷として 5300 万ユーロが含まれていたのに加え（前年同期は 1 億

¹ SBI Life に対する 4%持分を 1 株当たり 700 ルピーで売出し

² 一時項目による税引後ベースの影響：2017 年度第 3 四半期は -200 万ユーロ；2016 年度第 3 四半期は -3 億 600 万ユーロ

³ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率

⁴ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率

⁵ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの 100%を含む（PEL/CEL の影響を除く）

⁶ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと +2.8%）

⁷ 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

1100万ユーロ)、事業改編費用として4億4800万ユーロが含まれていました(前年同期は2億9700万ユーロ)。なお、当第3四半期累計期間の事業改編費用は、2017-2020年度事業開発計画のプログラムが徐々に導入されたことから、依然として限定的な水準に留まりました。

事業部門全体の営業費用は、当第3四半期累計期間に前年同期比1.2%増加しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.1%)。部門別では、国内市場部門¹で1.7%増加し、国際金融サービス部門²で3.8%増加した一方、CIBでは0.1%減少しました。

これらを受けて、グループの当第3四半期累計期間の営業総利益は、前年同期比4.8%減少して103億600万ユーロとなりました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-4.2%)。なお、事業部門全体では、前年同期と比べて4.4%増加しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.1%)。

リスク費用は、当第3四半期累計期間に19億2200万ユーロの低水準となり(前年同期は23億1200万ユーロ)、顧客向け融資残高の35bp相当でした。これは前年同期比16.9%の減少を意味しますが、とりわけ、ローンオリジネーション業務でリスク管理効果が発揮されたことに加え、低金利環境、および、イタリアで優良法人顧客向け融資の見直しが得て奏功し、引き続き状況が改善したことを反映しています。

グループの営業利益は、当第3四半期累計期間に83億8400万ユーロとなり(前年同期は85億900万ユーロ)、前年同期と比べて1.5%減少しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.8%)。なお事業部門全体では、営業利益は前年同期比12.1%の大幅増となりました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.0%)。

営業外項目は、当第3四半期累計期間に8億400万ユーロとなりました(前年同期は、子会社株式の減損損失を含めて純額で4億3400万ユーロ)。当第3四半期累計期間の営業外項目には、SBI Life³の新規株式公開に伴うキャピタルゲイン3億2600万ユーロが一時要因として貢献する一方で、TEBに関わるのれんの全額減損処理を実施したことから、1億7200万ユーロのマイナス要因も含まれています。

これらを受けて、当第3四半期累計期間の税引前利益は91億8800万ユーロに上り、前年同期の89億4300万ユーロと比べて2.7%増加しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.2%)。事業部門全体では、当第3四半期累計期間の税引前利益は前年同期比17.0%の大幅増を果たしました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.6%)。

以上から、当第3四半期累計期間の株主帰属純利益は63億3300万ユーロに上り、前年同期と比べて1.2%の増益でした。なお、一時項目による影響を除くと⁴、当事業年度のスタート以来グループの好業績が持続したことを反映して、株主帰属純利益は64億3000万ユーロに上り、前年同期と比べて7.4%の増益を果たしました。

当第3四半期累計期間の自己資本利益率は、年率換算後で9.8%となりました。また有形自己資本利益率は、年率換算後で11.6%でした。

¹ 国内ネットワークのプライベート・バンキングの100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+2.0%)

³ SBI Lifeに対する4%持分を1株当たり700ルピーで売出し

⁴ 一時項目による税引後ベースの影響: 2017年度第3四半期累計期間は-9700万ユーロ; 2016年度第3四半期累計期間は+2億7200万ユーロ

リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

国内市場部門は、当四半期も積極的に事業展開を推進しました。融資残高は、リテールバンキング業務および専門的金融業務において貸出が順調に伸びたことから、前年同期比 6.1%増加しました。預金残高は全ての国で高い伸びを示し、当四半期に 8.0%増加しました。プライベート・バンキング業務では、運用資産残高が 2016 年 9 月末の水準と比べて 5.8%増加しました。Hello bank! では事業成長が持続するとともに、新規顧客の獲得が順調に進みましたが、とりわけフランス国内では前年同期比 18.4%増加し、またイタリアでは前年同期比 17.1%の増加を果たしました。

国内市場部門は、当四半期にフランスの **Compte-Nickel** の買収手続を完了しました¹。これにより、極簡単・便利・費用効果を満たすサービスを求める顧客に対応すべく設計された、銀行の新たな利用法を開拓するための体制を強化するでしょう。

国内市場部門はまた以下のように、当四半期に個別の部門で新たなデジタルサービスを導入することにより、引き続きデジタル変革を推進するとともに、新たなカスタマーエクスペリエンスを開発しました：フランス国内リテールバンキング (FRB) では、**Welcome** (企業向けオンボーディング) および **Finsy** (ファクタリング) の業務用アプリを導入し、**BNL** バンカ・コメルシアレ (BNL bc) では **MyAccounts@OneBank** (法人顧客の子会社向けにデジタルバンキング口座の開設アプリ) を導入し、さらにベルギー国内リテールバンキング (BRB) では **Itsme** (デジタル ID アプリ) を導入しました。

営業収益² は当四半期に 39 億 1800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.1%の微減でした。その背景には、事業成長による増収効果を、低金利環境によるマイナス影響が打ち消したことがあります。それでも当事業部門は、国内ネットワークの全体にわたり手数料収入の増加を果たしました。

営業費用² は当四半期に 25 億 9900 万ユーロとなり、前年同期と比べて 1.2%増加しました。これには専門的金融業務の開発、および新たなデジタルサービスを当四半期に導入した費用が負担となりました。なお、FRB、BNL bc および BRB だけをとると、当四半期の営業費用は平均で前年同期比 0.1%減少しました。

これらを受けて、営業総利益² は前年同期と比べて 2.7%減少し、13 億 1900 万ユーロとなりました。

リスク費用は当四半期に前年同期比 5.3%減少しましたが、これにはとりわけ BNL bc において引き続きリスクが低減したことが貢献していました。

以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を、ウェルス・マネジメント業務 (国際金融サービス部門) へ配分した後、国内市場部門の税引前利益³ は当四半期に 9 億 7000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 2.3%の減益でした。

2017 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月) において、営業収益² は 118 億 2100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.2%の微減でした。その背景には、事業成長による増収効果を、低金利環境によるマイナス影響が打ち消したことがありました。それでも当事業部門は、国内ネットワークの全体にわたり手数料収入の増加を果たしました。営業費用² は、当第 3 四半期累計期間に 79 億 6700 万ユーロとなり、前年同期と比べて 1.7%増加しました。なお、前年同期に計上された一時項目の影響を除くと、営業費用の増加幅は、専門的金融業務の開発費用を含めても 1.3%に留まります (FRB、BNL bc および BRB だけをとると、平均で前年同期比 0.4%の増加)。これらを受けて、営業総利益² は前年同期から 4.0%減少して 38 億 5400 万ユーロとなりました。リスク費用は、とりわけ BNL bc での著しい改善が貢献して、当第 3 四半期累計期間に前年同期比 11.7%の大幅減少となりました。以上から、国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1

¹ 買収契約は 2017 年 7 月 12 日に調印済み

² フランス (PEL/CEL の影響を除く)、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む

³ PEL/CEL の影響を除く：2017 年度第 3 四半期は+700 万ユーロ；2016 年度第 3 四半期は-700 万ユーロ

を、ウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、国内市場部門の税引前利益¹は当第3四半期累計期間に27億2900万ユーロとなり、前年同期と比べて1.1%の若干の減益でした。

フランス国内リテールバンキング（FRB）

フランス国内リテールバンキング（FRB）は、当四半期に活発な事業展開を推進しました。融資残高は、個人および法人顧客向けの貸出が引き続き伸びたことから、低調であった前年同期と比べて8.7%増加しました。預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し、当四半期に前年同期比11.8%増加しました。生命保険が順調に伸び、保有契約高は2016年9月末と比べて3.5%増加しました。同様に、プライベート・バンキングの運用資産残高は、2016年9月末と比べて7.6%増加しました。

FRBは、引き続きデジタル変革および新たなカスタマーエクスペリエンスの開発を推進しました。その一環として当四半期に、企業向けの新たなデジタル・オンボーディングアプリであるWelcomeを導入するとともに、中小企業向けにデジタル・ファクタリングの金融ソリューションであるFinsyを導入しました。

営業収益²は当四半期に15億8500万ユーロとなり、前年同期と比べて1.0%の減収でした。純利息収入²は、長引く低金利環境のマイナス影響を事業成長による増収効果が一部補いましたが、前年同期比2.8%減少しました。手数料収入²については、とりわけ金融手数料の増加を受けて、当四半期に1.4%増加しました。

営業費用²は、確かなコスト抑制を反映して当四半期に11億8300万ユーロとなり、前年同期比0.5%の増加に留まりました。

これらを受けて、当四半期の営業総利益²は4億200万ユーロとなり、前年同期と比べて5.0%減少しました。

当四半期のリスク費用²は、6500万ユーロで（前年同期は7200万ユーロ）依然として低水準に留まり、顧客向け融資残高の17bp相当でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益³は当四半期に3億200万ユーロとなり、前年同期と比べて4.9%の減益でした。

2017年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益²は48億1100万ユーロとなり、前年同期比0.9%の減収でした。純利息収入²は、長引く低金利環境のマイナス影響を事業成長による増収効果が一部補いましたが、前年同期比3.0%減少しました。手数料収入²については、とりわけプライベート・バンキング業務における金融手数料の増加を受けて、当第3四半期累計期間に2.0%増加しました。営業費用²は当第3四半期累計期間に34億8200万ユーロとなり、前年同期比0.7%増加しました。これらを受けて、当第3四半期累計期間の営業総利益²は13億2900万ユーロとなり、前年同期と比べて4.8%減少しました。リスク費用²は、2億2400万ユーロで（前年同期は2億1800万ユーロ）依然として低水準に留まり、顧客向け融資残高の20bp相当でした。以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、FRBの税引前利益¹は当第3四半期累計期間に9億9200万ユーロとなり、前年同期と比べて7.7%の減益でした。

¹ PEL/CELの影響を除く：2017年度第3四半期累計期間は+600万ユーロ；2016年度第3四半期累計期間は-1000万ユーロ

² フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）

³ PEL/CELの影響を除く：2017年度第3四半期は+700万ユーロ；2016年度第3四半期は-700万ユーロ

**BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)**

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) の融資残高は、前年同期と比べて 0.2%減少しました。なお、2017 年度第 1 四半期に実施した不良債権の売却¹ による影響を除くと、融資残高は個人顧客向け貸出が牽引し、前年同期比 1%増加しました。預金残高は、当座預金の急増を受けて前年同期比 8.9%増加しました。BNL bc はオフバランス貯蓄商品で以下のように好業績を収めました：生命保険の保有契約高は 5.4%増加し、さらに、ミューチュアルファンドの残高は 2016 年 9 月末の水準から 11.5%の増加を果たしました。

BNL bc はまた、引き続き新たなカスタマーエクスペリエンスの開発やデジタル変革を推進し、当四半期において、法人顧客の子会社向けに口座開設の新アプリである MyAccounts@OneBank を導入しました。さらに、顧客からの通常のリクエストに自動対応するサービスであるチャットボットの利用を開発しました。

営業収益² は、当四半期に前年同期から 2.8%減少して 7 億 1900 万ユーロとなりました。純利息収入² は、長引く低金利環境の影響を受けて当四半期に 5.2%減少しました。一方、手数料収入² は、オフバランス貯蓄商品およびプライベート・バンキング業務の開発が順調に進み、前年同期比 1.5%増加しました。

営業費用² は、コスト節減策が奏功し、当四半期に 4 億 4500 万ユーロとなり前年同期比 0.6%減少しました。

これらを受けて、営業総利益² は当四半期に 2 億 7400 万ユーロで前年同期比 6.3%減少しました。

リスク費用² は、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善したことを反映して当四半期も低下傾向をたどり、顧客向け融資残高の 105bp 相当となりました（前年同期から 1200 万ユーロ減少）。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bc の税引前利益は当四半期に 6300 万ユーロとなり、前年同期比 10.2%の減益でした。

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益² は前年同期比 2.3%減少して 21 億 7500 万ユーロとなりました。純利息収入² は、長引く低金利環境の影響を受けて当第 3 四半期累計期間に 5.8%減少しました。一方、手数料収入² は、オフバランス貯蓄商品およびプライベート・バンキング業務の開発が順調に進み、前年同期比 4.2%増加しました。営業費用² は、13 億 4400 万ユーロで増加幅は 0.1%に留まりました。これらを受けて、営業総利益² は当第 3 四半期累計期間に 8 億 3100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 6.1%減少しました。リスク費用² は、貸出ポートフォリオの質が徐々に改善したことを反映して、前年同期の水準から 7800 万ユーロ減少し、顧客向け融資残高の 111bp 相当となりました。以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BNL bc の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 1 億 4600 万ユーロに上り、前年同期と比べて 15.3%の急増を果たしました。

¹ 法人向け融資の不良債権および住宅ローンから成る合計 10 億ユーロのポートフォリオを売却

² イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む

ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は、当四半期に引き続き積極的な事業活動を展開しました。融資残高は、法人顧客向け貸出の順調な伸びに加え住宅ローンも伸びたことから、前年同期と比べて **5.8%**増加しました。預金残高は、特に当座預金の伸びを受けて当四半期に **2.2%**増加しました。また、ミューチュアルファンドの残高も順調に伸び、**2016年9月末の水準から6.2%**増加しました。

BRB は、デジタル変革や新たなカスタマーエクスペリエンスの開発を継続した結果、当四半期に新たなアプリである **ltsme¹**を導入しました。これは顧客ごとに **1** 個のデジタル ID を付与することにより、膨大な数のモバイルサービスへ安全なアクセスを提供するアプリです。

営業収益² は、当四半期に前年同期比 **0.9%**の増収となり、**9億2100万ユーロ**に上りました。純利息収入² は、融資残高の増加によるプラス効果を低金利環境のマイナス影響が一部打ち消しましたが、前年同期比 **1.1%**増加しました。手数料収入² は、金融手数料が伸びたおかげで前年同期比 **0.2%**増加しました。

営業費用² は、コスト節減策が奏功して当四半期に前年同期比 **0.7%**減少し、**5億7000万ユーロ**となりました。

これらを受けて、営業総利益² は **3億5100万ユーロ**となり、前年同期から **3.6%**増加しました。

当四半期のリスク費用² は **2300万ユーロ**で、顧客向け融資残高の **9bp** 相当でした。なお、前年同期のリスク費用は **1900万ユーロ**でした。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の **3分の1** をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に **3億2900万ユーロ**に上り、前年同期と比べて **7.7%**の増益を果たしました。

2017年度第3四半期累計期間（1-9月）において、営業収益² は前年同期比 **1.1%**の増収となり、**27億8300万ユーロ**に上りました。純利息収入² は、低金利環境のマイナス影響を融資残高の増加によるプラス効果が一部補いましたが、前年同期比 **0.6%**減少しました。一方、手数料収入² は、低調であった前年同期と比べて **6.2%**増加しました。営業費用² は、前年同期比 **1.7%**増加して **19億5300万ユーロ**となりました。なお、前年同期に計上された一時項目の影響を除くと、営業費用の増加幅は確かなコスト管理を反映して **0.1%**に留まります。これらを受けて、営業総利益² は当第3四半期累計期間に **8億3000万ユーロ**となり、前年同期から **0.3%**減少しました。リスク費用² は、当第3四半期累計期間の貸倒引当金戻入益がとりわけ影響し、前年同期の **8900万ユーロ**から大幅に減少して **5000万ユーロ**となりました。以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の **3分の1** をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、BRB の税引前利益は当第3四半期累計期間に **7億5100万ユーロ**に上り、前年同期と比べて **8.0%**の増益を果たしました。

¹ 複数の通信事業者や銀行から成る、ベルギーのモバイル ID コンソーシアムにおいて開発されたアプリ

² ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む

その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Compte-Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング）

国内市場部門の専門的金融業務は、以下のように当四半期も成長を維持しました。アルバルでは事業成長が持続し、ファイナンス・フリートの契約台数が順調に伸びました（前年同期比+7.9%¹）。リーシング・ソリューションズでは、ファイナンスリース残高が着実な伸びを示しました（前年同期比+5.7%²）。個人投資家部門では新規顧客の獲得が順調に進んだ結果、当四半期は高水準の資金純流入がありました（34 億ユーロの純流入）。さらに、2017 年 7 月 12 日に買収手続きが完了した **Compte-Nickel** では、当四半期中に 80,000 口を超す口座が開設されましたが、これは前年同期との比較で 25%の増加でした。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、法人向け貸出および住宅ローンが順調に伸びたことから、当四半期の融資残高は前年同期比 10.5%増加しました。預金残高は、とりわけ法人顧客セグメントで旺盛な資金流入があったおかげで、当四半期に 13.5%増加しました。

当四半期において、これら 5 つの業務部門全体の営業収益³は、前年同期比 3.6%増加して 6 億 9200 万ユーロに上りました。

営業費用³は、前年同期比 9.1%増加して 4 億ユーロとなりました。これには事業開発に関わる費用に加え、新たなデジタルサービスの導入費用が負担となりました（特にリーシング・ソリューションズ）。

リスク費用³は前年同期から 400 万ユーロ減少し、当四半期は 1900 万ユーロとなりました。

以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら 5 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、当四半期に 2 億 7700 万ユーロとなり、前年同期と比べて 8.1%減少しました。

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益³は全体として前年同期比 1.8%の増収となり、20 億 5200 万ユーロに上りました。一時項目の影響を除くと、当第 3 四半期累計期間の営業収益は 2.3%の増収となります。営業費用³は、事業開発費に加え、アルバルおよびリーシング・ソリューションズにおける新たなデジタルサービスの導入に関わる費用を受けて、前年同期比 6.6%増加し 11 億 8800 万ユーロに上りました。リスク費用³は、前年同期から 2000 万ユーロ減少し、5900 万ユーロとなりました。以上から、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、これら 5 つの業務部門による国内市場部門の税引前利益への貢献は、当第 3 四半期累計期間に 8 億 4100 万ユーロとなり、前年同期比 2.6%減少しました。

*
* *

¹ 連結範囲の変更による影響を除く

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの 100%を含む

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門は、以下のように全ての業務部門で積極的な事業活動を展開しました。パーソナル・ファイナンスでは活発な事業活動を維持しました。欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストは、順調に事業を拡大しました。保険およびウェルス&アセット・マネジメントでは、旺盛な資金流入を受けて運用資産残高が2016年9月末と比べて3.7%増加しました。

国際金融サービス部門はまた、デジタル変革を引き続き推進するとともに、複数の業務部門で新たなアプリを導入して、これまでにないカスタマーエクスペリエンスの開発を続けました。さらに、トルコ（Cepteteb）およびポーランド（BGZ Optima）でデジタルバンキングを拡大し、またアセット・マネジメント業務では、投資のデジタル・アドバイザリソリューション（ロボアドバイザーサービス）を提供する Gambit を買収しました。

営業収益は、当四半期の為替レートが不利に動いたことから、39億2800万ユーロとなり、前年同期と比べて0.5%の減収でした。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比3.4%の増収となります。

営業費用は、事業開発を受けて当四半期に23億3000万ユーロとなり、前年同期比0.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.3%）。

これらを受けて、営業総利益は当四半期に15億9800万ユーロとなり、前年同期比1.8%減少しましたが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと2.1%増加しました。

リスク費用は3億5200万ユーロの低水準となり、前年同期から2400万ユーロ減少しました。

その他営業外項目は、当四半期に3億5800万ユーロとなりました（前年同期は僅少）。当四半期のその他営業外項目には、一時的要因として、インドの大手生命保険会社である SBI Life の新規株式公開（IPO）に伴うキャピタルゲイン3億260万ユーロ¹が含まれていました。

以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は当四半期に17億4400万ユーロへと急増し、前年同期と比べて27.0%の増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.0%）。

2017年度第3四半期累計期間（1-9月）において、国際金融サービス部門は好業績を収めました。営業収益は117億7300万ユーロに上り、前年同期比2.8%の増収でした。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は、全ての業務部門における増収を受けて、前年同期比4.5%の増収となりました。営業費用は当第3四半期累計期間に72億300万ユーロとなり、前年同期比2.0%の増加に留まったことから（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.8%）、概ね正のジョーズ効果が生み出されました。これらを受けて、営業総利益は当第3四半期累計期間に45億7000万ユーロとなり、前年同期比4.1%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.8%）。リスク費用は9億9800万ユーロの低水準となり、前年同期から7300万ユーロ減少しました。その他営業外項目は、当第3四半期累計期間に3億7900万ユーロとなりました（前年同期は700万ユーロ）。なお、当第3四半期累計期間のその他営業外項目には、SBI Life の新規株式公開に伴うキャピタルゲイン3億2600万ユーロ¹が含まれていました。以上から、国際金融サービス部門の税引前利益は、当第3四半期累計期間に18.5%の大幅増益を果たし、43億7100万ユーロに上りました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+10.4%）。

¹ 4%持分を1株当たり700ルピーで売出し。IPO後、SBI Life に対する保有比率は22%

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、当四半期も積極的な事業展開を推進しました。融資残高は、欧州景気の復調を受けた借入需要の高まりと新たな提携関係の効果のおかげで、当四半期に前年同期比 **8.8%**増加しました。パーソナル・ファイナンスは、スペインで **Masmovil** と新たな提携関係を結び、イタリアでは **Mediaworld** との提携を拡大するなど、パートナーシップの構築を継続しました。

当部門は、デジタルバンキングにおける継続的な開発でも成果を上げ、スペインでは既に融資の **70%**超が電子署名により実行されています。また、ベルギーでは、電子署名サービスである **Quick Sign** を導入しました。

パーソナル・ファイナンスの営業収益は、融資残高の増加およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、当四半期に前年同期比 **3.9%**増加して **12 億 2200 万ユーロ**に上りました。とりわけ、イタリアおよびスペインでの事業活動の成果が、当四半期の営業収益を押し上げました。

営業費用は、順調な事業開発を受けて、当四半期に前年同期比 **5.7%**増加して **5 億 7500 万ユーロ**に上りました。

これらを受けて、営業総利益は **6 億 4700 万ユーロ**となり、前年同期と比べて **2.4%**増加しました。

リスク費用は、顧客向け融資残高の増加を受けて当四半期に **2 億 7300 万ユーロ**となり、前年同期の **2 億 4000 万ユーロ**から **3300 万ユーロ**増加しました。また、当四半期のリスク費用は顧客向け融資残高の **154bp**相当でしたが、低金利環境およびより優良なリスクプロファイル商品へのシフトのおかげで、消費者金融業務としては低い水準に留まりました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に **4 億 2000 万ユーロ**に上り、前年同期と比べて **2.2%**の増益となりました。

2017 年度第 3 四半期累計期間 (1-9 月)において、営業収益は、融資残高の増加およびより優良なリスクプロファイルを伴う商品へのシフトが奏功し、前年同期比 **4.3%**増加して **36 億 4300 万ユーロ**となりました。営業費用は、前年同期比 **5.2%**増加して **17 億 8800 万ユーロ**となりました。なお、一時項目¹の影響を除くと、営業費用は順調な事業開発を反映して **4.3%**増加しました。これらを受けて、営業総利益は当第 3 四半期累計期間に **18 億 5500 万ユーロ**となり、前年同期比 **3.4%**増加しました。リスク費用は **7 億 3800 万ユーロ** (前年同期は **7 億 1000 万ユーロ**) となり、顧客向け融資残高の **144bp**相当でしたが、低金利環境およびより優良なリスクプロファイル商品へのシフトのおかげで低水準に留まりました。以上から、関連会社による利益貢献の大幅増²を考慮した上で、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当第 3 四半期累計期間に **12 億 1800 万ユーロ**となり、前年同期と比べて **10.0%**の増益を果たしました。

¹ 2016 年度第 2 四半期にコーポレート・センターで認識された単一破綻処理基金への拠出金の増額分を、2017 年度第 1 四半期に計上したことが特に影響

² 注：2016 年度第 2 四半期に子会社株式の減損処理を実施

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門では、当四半期も事業成長が持続しました。融資残高は、全ての地域で伸びたことから、前年同期比 5.3%¹ 増加しました。また預金残高は、前年同期と比べて 5.0%¹ 増加しました。デジタルバンキングサービスが順調に伸び、トルコでは CEPTETEB の顧客数が 44 万口に達しており、またポーランドでは BGZ OPTIMA の顧客数が 20 万 5 千口を上回りました。当部門はまたイノベーションを推進し、ポーランドにおいて非接触モバイル決済ソリューションを導入したことは特筆に値します。

営業収益² は当四半期に 5 億 7300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 3.7%¹ の減収でした。当四半期の営業収益には、トルコにおいて預金金利が上昇した一方で貸出金利の上昇が追い付かないことによる影響が含まれています。その他の地域では、融資残高の増加を受けて営業収益が増加しました。

営業費用² は、順調な事業開発を反映して当四半期に 4 億 300 万ユーロに上り、前年同期比 4.8%¹ 増加しました。

リスク費用² は、当四半期に 6000 万ユーロとなり（前年同期は 1 億 2700 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 62bp 相当でした。当四半期のリスク費用は、リスクの改善および貸倒引当金戻入益によるプラス効果の恩恵を受けました。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 1 億 5800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 7.3%³ の増益でした。

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益² は融資残高の増加を受けて 17 億 5500 万ユーロに上り、前年同期比 2.1%¹ の増収でした。営業費用² は、順調な事業開発を反映して当第 3 四半期累計期間に 12 億 4700 万ユーロとなり、前年同期比 4.7%¹ 増加しました。リスク費用² は、当第 3 四半期累計期間に 1 億 9700 万ユーロで（前年同期は 3 億 1000 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 68bp 相当となりました。当第 3 四半期累計期間のリスク費用は、7800 万ユーロに上る貸倒引当金戻入益の恩恵を受けています。以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 4 億 5900 万ユーロに上り、前年同期比 15.1%⁴ の大幅増益となりました。

バンクウエスト

バンクウエストは、当四半期も積極的な事業展開を推進しました。融資残高は、法人および個人顧客向け貸出が引き続き伸びたことから、前年同期比 6.2%¹ 増加しました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びを受けて、前年同期比 9.1%¹ 増加しました。プライベート・バンキング業務の運用資産残高は、2017 年 9 月末現在で 130 億米ドルに上りましたが、2016 年 9 月末と比べて 13.0%¹ の増加を果たしました。

バンクウエストはまた、デジタルバンキングの開発を継続した結果、同行が提供するオンラインサービスの利用者数は既に 41 万口を上回っています。さらに、バンクウエストは、当グループ全体との協力体制を拡充しました（例：“One Bank for Corporates”、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンスなど）。

営業収益⁵ は、融資残高の増加を受けて当四半期に 7 億 3400 万ユーロに上り、前年同期比 6.1%¹ の増収となりました。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと、為替が不利に動いたため、-4.2%）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと、為替が不利に動いたため、+3.0%）

⁵ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

営業費用¹は、確かなコスト抑制を反映して当四半期に 4 億 8200 万ユーロとなり、前年同期比 1.2%²の増加に抑えられたことから、大幅な正のジョーズ効果を生み出しました。

当四半期のリスク費用¹は 3200 万ユーロで依然として低い水準に留まり（前年同期は 1400 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 20bp 相当でした。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は、極めて良好な業績を反映して、当四半期に 2 億 1700 万ユーロに上り前年同期比 9.5%³の増益となりました。

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、営業収益¹は 22 億 5600 万ユーロに上り、証券および貸付債権の売却で多額の譲渡益を計上した前年同期と比べても、2.6%²の増収となりました。かかる譲渡益の影響を除くと、当第 3 四半期累計期間の営業収益は、融資残高の増加および金利の上昇を受けて、前年同期比 6.0%²の増収となります。営業費用¹は、確かなコスト管理を反映し、当第 3 四半期累計期間は 15 億 5200 万ユーロで前年同期比 1.9%²増加しました。リスク費用¹は、当第 3 四半期累計期間に 9200 万ユーロで依然として低い水準にとどまり（前年同期は 6200 万ユーロ）、顧客向け融資残高の 19bp 相当でした。以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス・マネジメント業務（国際金融サービス部門）へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 6 億 100 万ユーロとなり、前年同期比 2.3%⁴の減益でした（なお、前年同期に計上された証券および貸付債権の売却による譲渡益を除くと、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は 10.3%⁵の増益となります）。

保険およびウェルス&アセット・マネジメント

保険およびウェルス&アセット・マネジメント部門の運用資産残高⁶は、2017 年 9 月末現在で 1 兆 410 億ユーロに達し、2016 年 9 月末と比べて+3.7%増加しました。また、以下のように高水準の資金純流入および運用パフォーマンス効果を受けて、運用資産残高は 2016 年 12 月末の水準から 310 億ユーロ増加しました。資金純流入は総額 207 億ユーロに上りました：ウェルス・マネジメントでは旺盛な資金流入がありましたが、特にフランスおよびアジアが貢献しました；アセット・マネジメントでも資金純流入となり、とりわけ分散型ファンドおよび債券ファンドが恩恵を受けました；保険部門では、ユニットリンク保険へ集中的に高い資金流入がありました。運用パフォーマンス効果：+336 億ユーロの高い運用パフォーマンス効果があった一方で、-221 億ユーロの不利な為替の影響がこれを一部打ち消しました。

2017 年 9 月末現在、運用資産残高⁶の部門別内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは 4250 億ユーロ；ウェルス・マネジメントは 3580 億ユーロ；保険部門は 2350 億ユーロ；不動産管理部門は 240 億ユーロ。

保険部門は、引き続き積極的な事業展開を推進しました。保険部門はまた、当四半期に好条件でインドの大手生命保険会社である SBI Life⁷の新規株式公開を実施しました。これにより、残る 22%の保有株式の価値は 20 億ユーロ⁸と算定されます（SBI Life は引き続き持分法適用会社として処理）。

保険部門の営業収益は当四半期に 6 億 6200 万ユーロに上りましたが、多額の実現益の計上で高水準であった前年同期と比べて 2.5%の減収となりました。当四半期の営業収益には、フランスおよびアジアで保障保険や貯蓄型保険が好業績を上げたことが貢献しました。営業費用は、順調な事業開発を受けて当四半期に 3 億 1100 万ユーロとなり、前年同期比 4.0%増加しました。その他営業外項目は、SBI Life 株 4%の売出しによる一過性のキャピタルゲインのおかげで、当四半期は 3 億 2500 万ユーロに上りました（前年同期はぜ

¹ 米国プライベート・バンキングの 100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと、為替が不利に動いたため、+3.4%）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-1.8%）

⁵ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+11.9%）

⁶ 配当金を含む

⁷ 4%持分を 1 株当たり 700 ルピーで売出し（IPO 公募価格）

⁸ IPO 公募価格に基づき算定

ロ)。以上から、当四半期の税引前利益は 7 億 4000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 73.4%の著しい増益を果たしました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門では、当四半期も順調に事業活動を伸ばしました。当業務部門はまた、引き続きデジタル変革を推進するとともに、新たなカスタマーエクスペリエンスの開発に注力しました。その一環として、投資のデジタル・アドバイスやソリューション（ロボアドバイザーサービス）を提供する **Gambit** を買収しました。これは欧州におけるリテールおよびプライベート・バンキングを視野に据えた買収です。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は、当四半期に 7 億 5300 万ユーロに上りましたが、不利な為替の影響にも関わらず前年同期比 4.9%の増収を果たしました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、全ての業務で増収となったため、前年同期から 8.3%増加しました。営業費用は 5 億 6900 万ユーロで、前年同期比 0.4%減少しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.8%）。その結果、大幅な正のジョーズ効果が生み出されました。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に 2 億 800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 29.7%の大幅増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+26.5%）。これは、ウェルス&アセット・マネジメントが、部門全体的に極めて良好な業績を収めたことを物語っています。

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、保険部門の営業収益は 18 億 7800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 7.6%の増収となりました。当第 3 四半期累計期間の営業収益には、市場の上昇基調による効果に加え、保障保険や貯蓄型保険を始めとする業務の好業績を反映しています。営業費用は、順調な事業開発を反映して当第 3 四半期累計期間に 9 億 3400 万ユーロとなり、前年同期比 5.4%増加しました。その他営業外項目は、SBI Life 株 4%の売出しによる一過性のキャピタルゲインのおかげで、3 億 2600 万ユーロに上りました（前年同期は僅少）。以上から、当第 3 四半期累計期間の税引前利益は、前年同期比 42.3%の激増を果たし、14 億 4200 万ユーロに上りました。

ウェルス&アセット・マネジメント部門の営業収益は、当第 3 四半期累計期間に 22 億 8600 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4.7%の増収となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、全ての業務で増収となったため、前年同期から 6.7%増加しました。営業費用は十分抑制されたことから、前年同期と比べて 0.2%減少して 17 億 1200 万ユーロとなりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.3%）。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国からプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当第 3 四半期累計期間に 6 億 5100 万ユーロとなり、前年同期と比べて 27.9%の大幅増益を果たしました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+27.1%）。

*
* *

ホールセールバンキング事業 (CIB)

ホールセールバンキング事業 (CIB) では好業績が持続しましたが、当四半期には活気を欠く市場環境に直面しました。

営業収益は当四半期に 26 億 5800 万ユーロとなり、好調であった前年同期の高い水準と比べて 8.5%の減収でした。また、不利な為替の影響が追い打ちをかけました (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと 5.9%の減収)。

グローバルマーケット部門の営業収益は、FICC¹ 業務が不利な市場環境に見舞われたため、当四半期は 12 億 3400 万ユーロとなり、前年同期と比べて 17.2%の大幅減収でした (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-14.6%)。市場リスクを測定するバリュー・アット・リスク (VaR) は、2200 万ユーロで依然として極めて低い水準に留まりました。

FICC¹ (フィクストインカム・通貨・コモディティ) 部門の営業収益は、当四半期に 8 億 100 万ユーロとなり、前年同期比 23.6%² 減少しました。その背景には、市場が活況を呈した 2016 年度第 3 四半期とは対照的に、当四半期は全てのセグメントで顧客業務が低迷したことがあります。それでも当業務部門は債券引受業務でリーダー的地位を確認し、ユーロ建て全債券で第 1 位、また全国際債券で第 9 位にランクインしました。株式およびプライムサービス部門については、当四半期の営業収益は 4 億 3300 万ユーロに上り、前年同期と比べて 9.4%² の増収となりました。これにはプライムサービスおよび株式デリバティブ業務の健闘が貢献しました。

セキュリティーズ・サービス部門 (証券管理部門) の営業収益は、活発な営業活動および新規獲得マナデートからの増収効果で、当四半期は 4 億 7600 万ユーロに上り、前年同期と比べて 4.2%の増収となりました (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.4%)。当四半期は、カストディ業務の受託資産が前年同期比 9.1%増加したことに加え、取引は前年同期から 7.8%増加しました。また、当業務部門は引き続き大型マナデートを獲得しました。

ホールセールバンキング部門の営業収益は、不利な為替の影響を受けて当四半期に 9 億 4800 万ユーロとなり、前年同期比 1.1%の減収でした。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと 2.1%の増収となりますが、これにはアジアパシフィックおよび EMEA³ (欧州・中東・アフリカ) 地域での伸びが貢献しました。ホールセールバンキング部門は、トランザクションバンキング業務で以下のように着実な成果を上げました: 当部門は欧州におけるトレードファイナンスで 3 年連続の第 1 位に輝き、また、アジアで初めて第 3 位にランクインしました⁴。融資残高は、当四半期に 1287 億ユーロに上り、前年同期から 0.9%² 増加しました。預金残高は、順調なキャッシュマネジメント業務の開発のおかげで、当四半期も引き続き伸びて 1283 億ユーロに上り、前年同期比 8.3%² 増加しました。さらに当部門は、Centric のプラットフォームで成功を収め、デジタルバンキングサービスの開発で大きく前進しました。Centric の法人顧客数は、2016 年 12 月末から 23.2%増加し、既に 7,700 口を上回っています。

CIB の営業費用は、当四半期に 18 億 9700 万ユーロとなり、前年同期比 6.2%減少しました (連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-3.3%)。これは、CIB が早くも 2016 年初に導入した事業改編計画の一環として、様々なコスト節減策を実施してきた効果が発揮されたものです。CIB は当四半期も積極的に同計画を実施した結果、2018 年末までに自動化が可能な 200 の業務プロセスを認識できました。

これらを受けて、CIB の営業総利益は当四半期に 7 億 6100 万ユーロとなり、前年同期比 13.8%減少しました。

リスク費用に関しては、当四半期に純額で貸倒引当金戻入益 1000 万ユーロが計上されました (対して、前年同期は、純額で貸倒引当金繰入額 7400 万ユーロを計上)。部門別では、コーポレートバンキング部門において、当四半期に純額で 400 万ユーロの引当金戻入益が計上され (前年同期は純額で 7900 万ユーロの引

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ Europe, Middle East, Africa

⁴ 出所: Greenwich Share Leaders Survey (Global Large Corporate Trade Finance, 2017 年 10 月)

当金繰入額を計上)、一方、グローバルマーケット部門では、当四半期に純額で 600 万ユーロの引当金戻入益が計上されました(前年同期は純額で 500 万ユーロの引当金戻入益を計上)。

以上から、CIB の税引前利益は当四半期に 7 億 7800 万ユーロとなり、前年同期と比べて 4.2%の減益でした。これは、当四半期中の活気を欠く市場環境にありながら、コスト節減策の効果を発揮させた CIB の粘り強い収益体質を反映しています。

2017 年度第 3 四半期累計期間(1-9 月)において、CIB の営業収益は、全ての業務分野で順調に伸びたことから 90 億 7800 万ユーロに上り、前年同期と比べて 5.0%の増収となりました。部門別では、グローバルマーケット部門の営業収益は 45 億 1100 万ユーロに上り、前年同期比 3.3%増加しました。株式およびプライムサービス部門の営業収益は、16 億 5300 万ユーロで前年同期比 22.9%の急増を遂げました。これには、株式デリバティブで顧客業務の回復に加え、プライムサービスの高い伸びが貢献していました。一方、FICC¹部門の営業収益は、2017 年度第 2-3 四半期の活気を欠いた市場の影響で、28 億 5800 万ユーロとなり前年同期比 5.4%減少しました。セキュリティーズ・サービス部門の営業収益は、取引の増加および新規獲得マंडートの増収効果から、14 億 5200 万ユーロに上り前年同期比 6.8%増加しました。コーポレートバンキング部門の営業収益は、全ての地域で増収となり、31 億 1500 万ユーロに上り前年同期比 6.6%増加しました²。

CIB の営業費用は、当第 3 四半期累計期間に 63 億 9000 万ユーロとなり、前年同期と比べて 0.1%減少しました。当第 3 四半期累計期間の営業費用は、CIB が早くも 2016 年初に事業改編計画を導入して以来実施してきた、様々なコスト節減策の効果を受けています。その結果、当第 3 四半期累計期間に大幅な正のジョーズ効果が生み出されましたが、これは CIB の業務効率の目覚ましい改善を反映しています。これらを受けて、CIB の営業総利益は当第 3 四半期累計期間に前年同期比 19.3%の急増を遂げ、26 億 8800 万ユーロに上りました。リスク費用に関しては、CIB は当第 3 四半期累計期間に純額で 1 億 8200 万ユーロの貸倒引当金戻入益を計上しました(前年同期は純額で 1 億 4800 万ユーロの貸倒引当金繰入額を計上)。部門別では、コーポレートバンキング部門は純額で 1 億 3900 万ユーロの引当金戻入益を計上しました(前年同期は純額で 1 億 7700 万ユーロの引当金繰入額を計上)。グローバルマーケット部門は、純額で 4200 万ユーロの引当金戻入益を計上しました(前年同期は純額で 2800 万ユーロの引当金戻入益を計上)。以上から、CIB は当第 3 四半期累計期間に好業績を収め、税引前利益は 29 億 400 万ユーロを計上しました。これは前年同期から 36.9%の増加で、利益の急回復を裏付けています。

*
**

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期に 2200 万ユーロとなり、これに対し前年同期の営業収益は -4500 万ユーロでした。当四半期の営業収益には、一時項目として、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額(Own Credit Adjustment: OCA)およびデリバティブに関わる債務評価調整額(Debt Value Adjustment: DVA)が合計で+2100 万ユーロ含まれていました(前年同期は-2 億 200 万ユーロ)。なお当四半期に、プリンシパル・インベストメンツから高水準の収益貢献があったことは特筆に値します。

営業費用は当四半期に 3 億 8200 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 3 億 8100 万ユーロでした。当四半期の営業費用には、買収に関わる一過性の事業再編費用³として 1700 万ユーロが含まれていたのに加え(前年同期は 3700 万ユーロ)、事業改編費用が 2 億 500 万ユーロ含まれていました(前年同期は 2 億 1600 万ユーロ)。

リスク費用は当四半期に 1600 万ユーロとなりました(前年同期は純額で 1300 万ユーロの引当金戻入益を計上)。

¹ Fixed Income, Currencies and Commodities

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

³ 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

営業外項目は当四半期に -1 億 4900 万ユーロとなりました（前年同期は+2200 万ユーロ）。当四半期の営業外項目には、TEB ののれんに関わる全額減損損失として 1 億 7200 万ユーロが含まれていました。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に -5 億 2500 万ユーロとなり、これに対し前年同期は -3 億 9100 万ユーロでした。

2017 年度第 3 四半期累計期間（1-9 月）において、コーポレート・センターの営業収益は 3 億 8200 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 12 億 2300 万ユーロでした。当第 3 四半期累計期間の営業収益には、とりわけ以下の要因が影響していました：一時項目として、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務評価調整額（Debt Value Adjustment: DVA）が合計で -1 億 8600 万ユーロ含まれていました（前年同期は -4100 万ユーロ）；新韓金融持株会社株およびユーロネクスト株の売却による譲渡益が合計で+2 億 3300 万ユーロ含まれていました（対して前年同期は、VISA ヨーロッパ株の売却による譲渡益 +5 億 9700 万ユーロ）。また、当第 3 四半期累計期間の営業収益には、前年同期と同様、プリンシパル・インベストメントによる高水準の収益貢献が含まれています。営業費用は、当第 3 四半期累計期間に 9 億 9000 万ユーロとなり、これに対し前年同期は 8 億 5900 万ユーロでした。当第 3 四半期累計期間の営業費用には、買収に関わる一過性の事業再編費用¹として 5300 万ユーロが含まれていたのに加え（前年同期は 1 億 1100 万ユーロ）、事業改編費用が 4 億 4800 万ユーロ含まれていました（前年同期は 2 億 9700 万ユーロ）。リスク費用は、当第 3 四半期累計期間に 1 億 2200 万ユーロとなりました（前年同期は純額で 1700 万ユーロの引当金戻入益を計上）。営業外項目は -9200 万ユーロでした（前年同期は僅少）。当第 3 四半期累計期間の営業外項目には、TEB ののれんに関わる全額減損損失として 1 億 7200 万ユーロが含まれていました（前年同期は、子会社株式ののれんに関わる減損損失 5400 万ユーロが含まれていました）。以上から、コーポレート・センターの税引前利益は、当第 3 四半期累計期間に -8 億 2200 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は +3 億 8400 万ユーロでした。

*
* *

財務構造

当グループは極めて盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 全面適用のエクイティ Tier 1 比率²は、2017 年 9 月末現在で 11.8%となり、2017 年 6 月末の水準から 10bp 上昇しました。その主な要因として、配当性向 50%を前提とした当四半期純利益（+15 bp）、および、為替の影響を除くリスク加重資産の増加（-5 bp）が挙げられます。なお、為替変動およびその他の要因による Tier 1 比率への影響は概ね軽微でした。

バーゼル 3 全面適用のレバレッジ比率³は Tier 1 資本全部に基づき算定されますが、同比率は 2017 年 9 月末現在で 4.1%でした。

流動性カバレッジ比率は、2017 年 9 月末現在で 111%でした。

当グループの即時利用可能な余剰資金は、2017 年 9 月末現在で 3240 億ユーロに上りました。これは短期資金調達との関係で、1 年超の余裕資金があることを意味します。

当グループの自己資本規制に関わる比率の推移は、グループが規制枠組みの制約のなかで、規律をもってバランスシートを管理する能力を有していることを証明しています。

¹ 特に LaSer、BGZ 銀行、DAB バンク、および General Electric LLD が影響

² 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮した比率。また、欧州議会・理事会規則（EU）No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う

³ 2019 年に完全施行される CRD4 規則を経過措置なしで全て考慮し、また 2014 年 10 月 10 日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき算定された比率



*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は次のように述べています。

「株主帰属純利益の20億ユーロが示すように、BNPパリバは当四半期も高い利益水準を達成しました。

欧州経済が回復基調にあるなか、当グループは事業開発で順調に成果を上げました。当四半期は債券市場にとって厳しい状況であったにも関わらず、営業収益は比較可能なベースで安定推移しました。

事業改編計画実施の効果が発揮され、コストは十分に抑制されており、またリスク費用が大幅に減少しました。

当グループのバランスシートは極めて盤石であり、バーゼル3全面適用のエクイティ Tier 1 比率が11.8%へ改善したことはこれを証明しています。

このような好業績を達成するとともに、2017-2020年度事業開発計画の実施に全力を尽くす、BNPパリバの全従業員に感謝の意を表します。」

連結損益計算書

	3Q17	3Q16	3Q17 / 3Q16	2Q17	3Q17 / 2Q17	9M17	9M16	9M17 / 9M16
<i>(単位：百万ユーロ)</i>								
営業収益	10,394	10,589	-1.8%	10,938	-5.0%	32,629	32,755	-0.4%
営業費用および減価償却費	-7,133	-7,217	-1.2%	-7,071	+0.9%	-22,323	-21,934	+1.8%
営業総利益	3,261	3,372	-3.3%	3,867	-15.7%	10,306	10,821	-4.8%
リスク費用	-668	-764	-12.6%	-662	+0.9%	-1,922	-2,312	-16.9%
営業利益	2,593	2,608	-0.6%	3,205	-19.1%	8,384	8,509	-1.5%
持分法適用会社投資損益	150	163	-8.0%	223	-32.7%	538	482	+11.6%
その他営業外項目	230	9	n.s.	33	n.s.	266	-48	n.s.
営業外項目	380	172	n.s.	256	+48.4%	804	434	+85.3%
税引前利益	2,973	2,780	+6.9%	3,461	-14.1%	9,188	8,943	+2.7%
法人税	-828	-790	+4.8%	-943	-12.2%	-2,523	-2,374	+6.3%
少数株主帰属純利益	-102	-104	-1.9%	-122	-16.4%	-332	-309	+7.4%
株主帰属純利益	2,043	1,886	+8.3%	2,396	-14.7%	6,333	6,260	+1.2%
コスト/インカム率	68.6%	68.2%	+0.4pt	64.6%	+4.0pt	68.4%	67.0%	+1.4pt

BNP パリバの2017年度第3四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースに含まれています。法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。

2017 年度第 3 四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	3,786	3,928	2,658	10,372	22	10,394	
	対前年同期比	+0.1%	-0.5%	-8.5%	-2.5%	n.s.	-1.8%
	対前四半期比	-0.5%	-0.2%	-16.9%	-5.1%	n.s.	-5.0%
営業費用および減価償却費	-2,524	-2,330	-1,897	-6,751	-382	-7,133	
	対前年同期比	+1.2%	+0.5%	-6.2%	-1.2%	+0.2%	-1.2%
	対前四半期比	+4.4%	-1.6%	-4.6%	-0.3%	+27.5%	+0.9%
営業総利益	1,262	1,598	761	3,622	-361	3,261	
	対前年同期比	-2.0%	-1.8%	-13.8%	-4.6%	-15.4%	-3.3%
	対前四半期比	-9.0%	+1.9%	-37.0%	-13.0%	+21.4%	-15.7%
リスク費用	-310	-352	10	-652	-16	-668	
	対前年同期比	-5.3%	-6.3%	n.s.	-16.1%	n.s.	-12.6%
	対前四半期比	-12.8%	+6.6%	-91.2%	+14.8%	-83.0%	+0.9%
営業利益	952	1,246	772	2,970	-377	2,593	
	対前年同期比	-0.9%	-0.4%	-4.6%	-1.7%	-8.8%	-0.6%
	対前四半期比	-7.7%	+0.7%	-41.9%	-17.4%	-3.8%	-19.1%
持分法適用会社投資損益	22	140	-2	160	-10	150	
その他営業外項目	3	358	8	369	-139	230	
税引前利益	977	1,744	778	3,498	-525	2,973	
	対前年同期比	-1.0%	+27.0%	-4.2%	+10.3%	+34.2%	+6.9%
	対前四半期比	-7.2%	+24.1%	-42.3%	-8.1%	+52.1%	-14.1%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	3,786	3,928	2,658	10,372	22	10,394	
	前年同期	3,782	3,946	2,905	10,634	-45	10,589
	前四半期	3,803	3,935	3,197	10,935	3	10,938
営業費用および減価償却費	-2,524	-2,330	-1,897	-6,751	-382	-7,133	
	前年同期	-2,494	-2,319	-2,022	-6,836	-381	-7,217
	前四半期	-2,417	-2,367	-1,988	-6,771	-300	-7,071
営業総利益	1,262	1,598	761	3,622	-361	3,261	
	前年同期	1,288	1,627	883	3,798	-426	3,372
	前四半期	1,387	1,568	1,209	4,164	-297	3,867
リスク費用	-310	-352	10	-652	-16	-668	
	前年同期	-327	-376	-74	-777	13	-764
	前四半期	-356	-331	118	-568	-94	-662
営業利益	952	1,246	772	2,970	-377	2,593	
	前年同期	961	1,251	809	3,021	-413	2,608
	前四半期	1,031	1,237	1,328	3,596	-391	3,205
持分法適用会社投資損益	22	140	-2	160	-10	150	
	前年同期	18	122	2	141	22	163
	前四半期	21	153	5	179	44	223
その他営業外項目	3	358	8	369	-139	230	
	前年同期	8	1	1	9	0	9
	前四半期	1	14	15	31	2	33
税引前利益	977	1,744	778	3,498	-525	2,973	
	前年同期	987	1,373	812	3,171	-391	2,780
	前四半期	1,053	1,405	1,349	3,807	-346	3,461
法人税							-828
少数株主帰属純利益							-102
株主帰属純利益							2,043

**2017年1-9月期 - コア事業別業績**

		リテールバンキング およびサービス事業			ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他 業務	グループ 合計
		国内市場 部門	国際金融 サービス部門					
<i>(単位：百万ユーロ)</i>								
営業収益		11,397	11,773	9,078	32,247	382	32,629	
	対前年同期比	-0.3%	+2.8%	+5.0%	+2.3%	-68.8%	-0.4%	
営業費用および減価償却費		-7,739	-7,203	-6,390	-21,333	-990	-22,323	
	対前年同期比	+1.6%	+2.0%	-0.1%	+1.2%	+15.3%	+1.8%	
営業総利益		3,657	4,570	2,688	10,914	-608	10,306	
	対前年同期比	-4.1%	+4.1%	+19.3%	+4.4%	n.s.	-4.8%	
リスク費用		-985	-998	182	-1,800	-122	-1,922	
	対前年同期比	-11.3%	-6.8%	n.s.	-22.7%	n.s.	-16.9%	
営業利益		2,672	3,572	2,870	9,114	-730	8,384	
	対前年同期比	-1.1%	+7.6%	+36.3%	+12.1%	n.s.	-1.5%	
持分法適用会社投資損益		54	420	11	485	53	538	
その他営業外項目		9	379	23	411	-145	266	
税引前利益		2,735	4,371	2,904	10,010	-822	9,188	
	対前年同期比	-0.5%	+18.5%	+36.9%	+17.0%	n.s.	+2.7%	
法人税							-2,523	
少数株主帰属純利益							-332	
株主帰属純利益							6,333	

連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)

	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
グループ								
営業収益	10,394	10,938	11,297	43,411	10,656	10,589	11,322	10,844
営業費用および減価償却費	-7,133	-7,071	-8,119	-29,378	-7,444	-7,217	-7,090	-7,627
営業総利益	3,261	3,867	3,178	14,033	3,212	3,372	4,232	3,217
リスク費用	-668	-662	-592	-3,262	-950	-764	-791	-757
営業利益	2,593	3,205	2,586	10,771	2,262	2,608	3,441	2,460
持分法適用会社投資損益	150	223	165	633	151	163	165	154
その他営業外項目	230	33	3	-194	-146	9	-81	24
税引前利益	2,973	3,461	2,754	11,210	2,267	2,780	3,525	2,638
法人税	-828	-943	-752	-3,095	-721	-790	-864	-720
少数株主帰属純利益	-102	-122	-108	-413	-104	-104	-101	-104
株主帰属純利益	2,043	2,396	1,894	7,702	1,442	1,886	2,560	1,814
コストインカム率	68.6%	64.6%	71.9%	67.7%	69.9%	68.2%	62.6%	70.3%

(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く								
営業収益	7,707	7,737	7,719	30,651	7,758	7,735	7,636	7,522
営業費用および減価償却費	-4,854	-4,784	-5,305	-19,880	-5,200	-4,813	-4,681	-5,187
営業総利益	2,853	2,953	2,414	10,771	2,558	2,922	2,956	2,335
リスク費用	-662	-686	-634	-3,005	-824	-704	-740	-738
営業利益	2,191	2,267	1,780	7,765	1,733	2,218	2,216	1,598
持分法適用会社投資損益	162	174	139	530	130	140	124	136
その他営業外項目	361	16	11	10	-5	9	-2	8
税引前利益	2,714	2,457	1,930	8,305	1,858	2,367	2,339	1,742
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	50.9	50.7	50.6	49.0	49.0	48.8	48.6	48.7
(単位：百万ユーロ)								
リテールバンキングおよびサービス事業								
営業収益	7,714	7,738	7,717	30,649	7,765	7,728	7,615	7,540
営業費用および減価償却費	-4,854	-4,784	-5,305	-19,880	-5,200	-4,813	-4,681	-5,187
営業総利益	2,860	2,955	2,412	10,768	2,565	2,915	2,935	2,353
リスク費用	-662	-686	-634	-3,005	-824	-704	-740	-738
営業利益	2,198	2,269	1,778	7,763	1,741	2,212	2,195	1,616
持分法適用会社投資損益	162	174	139	530	130	140	124	136
その他営業外項目	361	16	11	10	-5	9	-2	8
税引前利益	2,721	2,458	1,927	8,303	1,866	2,360	2,318	1,760
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	50.9	50.7	50.6	49.0	49.0	48.8	48.6	48.7
(単位：百万ユーロ)								
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く								
営業収益	3,918	3,951	3,952	15,715	3,866	3,923	3,962	3,963
営業費用および減価償却費	-2,599	-2,488	-2,880	-10,629	-2,794	-2,567	-2,449	-2,818
営業総利益	1,319	1,463	1,072	5,086	1,072	1,356	1,513	1,145
リスク費用	-311	-355	-319	-1,515	-399	-329	-388	-399
営業利益	1,008	1,108	753	3,572	674	1,028	1,124	746
持分法適用会社投資損益	23	21	11	54	14	18	13	9
その他営業外項目	3	1	5	2	-6	8	2	-2
税引前利益	1,034	1,130	769	3,628	681	1,054	1,140	753
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-64	-78	-61	-246	-59	-61	-63	-63
国内市場部門税引前利益	970	1,052	707	3,382	622	993	1,076	690
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	24.3	24.1	23.8	23.0	23.0	22.9	22.9	22.9
(単位：百万ユーロ)								
国内市場部門(フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの2/3を含む)								
営業収益	3,786	3,803	3,807	15,170	3,740	3,782	3,803	3,844
営業費用および減価償却費	-2,524	-2,417	-2,799	-10,336	-2,719	-2,494	-2,378	-2,745
営業総利益	1,262	1,387	1,008	4,834	1,022	1,288	1,425	1,099
リスク費用	-310	-356	-319	-1,509	-399	-327	-385	-398
営業利益	952	1,031	689	3,324	623	961	1,040	701
持分法適用会社投資損益	22	21	11	53	13	18	13	9
その他営業外項目	3	1	5	2	-6	8	2	-2
税引前利益	977	1,053	705	3,379	630	987	1,055	708
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	24.3	24.1	23.8	23.0	23.0	22.9	22.9	22.9

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)*								
営業収益	1,592	1,607	1,618	6,398	1,556	1,594	1,587	1,661
うち受取利息純額	904	886	909	3,674	907	916	879	972
うち手数料	688	721	708	2,725	649	678	709	689
営業費用および減価償却費	-1,183	-1,116	-1,184	-4,673	-1,216	-1,178	-1,106	-1,173
営業総利益	409	492	434	1,725	340	416	481	488
リスク費用	-65	-80	-79	-342	-124	-72	-72	-73
営業利益	344	412	355	1,384	215	345	408	415
営業外項目	1	0	0	3	1	0	1	1
税引前利益	344	412	356	1,386	217	345	409	416
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-36	-40	-39	-138	-32	-34	-32	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	309	372	316	1,249	184	310	377	377
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.4	9.3	9.2	8.7	8.7	8.6	8.5	8.6
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む)* PEL/CELの影響を除く**								
営業収益	1,585	1,606	1,620	6,401	1,548	1,601	1,608	1,643
うち受取利息純額	897	885	912	3,676	899	923	900	954
うち手数料	688	721	708	2,725	649	678	709	689
営業費用および減価償却費	-1,183	-1,116	-1,184	-4,673	-1,216	-1,178	-1,106	-1,173
営業総利益	402	490	436	1,728	332	423	502	470
リスク費用	-65	-80	-79	-342	-124	-72	-72	-73
営業利益	337	411	358	1,386	208	351	430	397
営業外項目	1	0	0	3	1	0	1	1
税引前利益	337	411	358	1,389	209	351	430	398
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-36	-40	-39	-138	-32	-34	-32	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	302	371	319	1,251	177	317	398	359
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.4	9.3	9.2	8.7	8.7	8.6	8.5	8.6
フランス国内リテールバンキング(フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む)								
営業収益	1,518	1,531	1,541	6,113	1,485	1,523	1,516	1,588
営業費用および減価償却費	-1,145	-1,079	-1,146	-4,525	-1,178	-1,141	-1,068	-1,139
営業総利益	374	452	395	1,588	307	382	448	450
リスク費用	-65	-80	-79	-341	-124	-71	-72	-73
営業利益	308	372	316	1,247	183	311	376	377
営業外項目	0	0	0	2	1	0	1	1
税引前利益	309	372	316	1,249	184	310	377	377
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	9.4	9.3	9.2	8.7	8.7	8.6	8.5	8.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

** PEL/CEL に関わる引当金：当該引当金は、フランス国内リテールバンキングの営業収益に影響を及ぼすものであり、住宅積立預金口座 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅預金口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から生じるリスクについて、口座の存続期間全体にわたり設定されている。

(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
PEL/CELの影響	7	1	-2	-2	8	-7	-21	18

(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
BNL バンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む)*								
営業収益	719	729	727	2,972	745	741	749	737
営業費用および減価償却費	-445	-430	-469	-1,885	-543	-448	-433	-462
営業総利益	274	299	258	1,086	202	293	317	275
リスク費用	-203	-222	-228	-959	-229	-215	-242	-274
営業利益	71	77	30	127	-27	78	74	1
営業外項目	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	71	77	30	127	-27	78	74	1
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-9	-12	-12	-37	-10	-9	-9	-10
BNL バンカ・コメルシアール税引前利益	63	65	18	90	-36	70	65	-8
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.8	5.7	5.7	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0
(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
BNL バンカ・コメルシアール (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)								
営業収益	699	707	706	2,895	725	721	730	718
営業費用および減価償却費	-434	-420	-460	-1,846	-533	-438	-423	-453
営業総利益	265	287	247	1,049	192	284	307	265
リスク費用	-203	-222	-228	-959	-229	-214	-242	-274
営業利益	62	65	18	90	-36	70	65	-8
営業外項目	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	63	65	18	90	-36	70	65	-8
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.8	5.7	5.7	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0
(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む)*								
営業収益	921	930	931	3,661	908	914	923	917
営業費用および減価償却費	-570	-560	-823	-2,582	-661	-575	-555	-791
営業総利益	351	370	108	1,079	247	339	367	126
リスク費用	-23	-28	1	-98	-9	-19	-49	-21
営業利益	328	343	109	981	237	320	318	106
持分法適用会社投資損益	17	6	-4	8	2	5	5	-4
その他営業外項目	3	2	0	-3	-1	-2	0	0
税引前利益	347	351	106	987	239	323	323	102
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-18	-25	-10	-69	-17	-18	-21	-14
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	329	325	96	918	222	305	302	88
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.2	5.2	5.1	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6
(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)								
営業収益	879	882	889	3,490	867	871	878	875
営業費用および減価償却費	-547	-537	-790	-2,484	-636	-550	-534	-763
営業総利益	332	346	99	1,007	230	321	344	112
リスク費用	-23	-28	1	-95	-10	-19	-46	-20
営業利益	309	317	99	912	221	302	297	92
持分法適用会社投資損益	17	6	-4	8	2	5	5	-4
その他営業外項目	3	2	0	-2	-1	-2	0	0
税引前利益	329	325	96	918	222	305	302	88
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	5.2	5.2	5.1	4.7	4.7	4.7	4.7	4.6

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む)*								
営業収益	692	686	674	2,681	666	669	681	666
営業費用および減価償却費	-400	-382	-405	-1,488	-374	-367	-355	-393
営業総利益	292	304	269	1,193	292	302	327	273
リスク費用	-19	-26	-14	-115	-37	-23	-25	-31
営業利益	273	278	256	1,078	255	279	302	242
持分法適用会社投資損益	5	14	14	43	10	13	8	12
その他営業外項目	0	0	5	5	-6	10	3	-2
税引前利益	277	292	274	1,125	260	301	312	252
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	-1	-2	0	0	-1	-1
その他国内市場部門税引前利益	277	291	274	1,123	259	301	311	251
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8
<hr/>								
(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門 (ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む)								
営業収益	690	683	671	2,671	663	666	679	663
営業費用および減価償却費	-399	-381	-403	-1,481	-372	-365	-353	-391
営業総利益	291	303	269	1,190	291	301	326	272
リスク費用	-19	-26	-14	-115	-36	-23	-25	-31
営業利益	272	277	255	1,076	255	278	301	241
持分法適用会社投資損益	5	14	14	43	10	13	8	12
その他営業外項目	0	0	5	5	-6	10	3	-2
税引前利益	277	291	274	1,123	259	301	311	251
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
国際金融サービス部門								
営業収益	3,928	3,935	3,909	15,479	4,025	3,946	3,813	3,696
営業費用および減価償却費	-2,330	-2,367	-2,506	-9,544	-2,481	-2,319	-2,303	-2,442
営業総利益	1,598	1,568	1,404	5,935	1,544	1,627	1,510	1,254
リスク費用	-352	-331	-315	-1,496	-425	-376	-355	-339
営業利益	1,246	1,237	1,089	4,439	1,118	1,251	1,155	915
持分法適用会社投資損益	140	153	128	477	116	122	111	127
その他営業外項目	358	14	6	8	1	1	-4	10
税引前利益	1,744	1,405	1,222	4,924	1,236	1,373	1,262	1,052
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	26.5	26.6	26.7	26.1	26.1	25.9	25.7	25.8
パーソナル・ファイナンス								
(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
営業収益	1,222	1,220	1,201	4,679	1,185	1,177	1,168	1,149
営業費用および減価償却費	-575	-579	-634	-2,298	-598	-544	-547	-609
営業総利益	647	641	568	2,381	587	632	621	540
リスク費用	-273	-225	-240	-979	-269	-240	-248	-221
営業利益	375	415	328	1,401	317	392	373	319
持分法適用会社投資損益	21	30	20	42	18	18	-8	13
その他営業外項目	24	0	5	-1	-2	0	-1	1
税引前利益	420	445	353	1,442	334	411	364	333
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.5	5.4	5.3	4.9	4.9	4.9	4.8	4.8
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む)*								
(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
営業収益	573	590	592	2,513	630	659	616	608
営業費用および減価償却費	-403	-420	-424	-1,705	-431	-413	-429	-432
営業総利益	170	170	168	808	200	245	187	176
リスク費用	-60	-70	-67	-437	-127	-127	-87	-96
営業利益	110	100	101	371	73	118	100	80
持分法適用会社投資損益	47	53	48	200	49	48	53	50
その他営業外項目	1	-1	0	-3	-1	0	-4	2
税引前利益	159	152	150	568	121	166	149	132
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	0	-1	-1	-2	-1	0	-1	-1
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	158	151	149	566	120	165	149	132
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.0	5.0	5.0	5.2	5.2	5.2	5.2	5.1
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)								
(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
営業収益	571	588	590	2,505	628	656	614	606
営業費用および減価償却費	-401	-419	-423	-1,699	-429	-411	-428	-431
営業総利益	170	169	167	806	199	245	187	176
リスク費用	-60	-70	-67	-437	-127	-127	-87	-96
営業利益	110	99	100	369	72	118	100	80
持分法適用会社投資損益	47	53	48	200	49	48	53	50
その他営業外項目	1	-1	0	-3	-1	0	-4	2
税引前利益	158	151	149	566	120	165	149	132
配賦資本(十億ユーロ、年初来)	5.0	5.0	5.0	5.2	5.2	5.2	5.2	5.1

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの100%を含む) *								
営業収益	734	762	761	2,984	795	728	688	773
営業費用および減価償却費	-482	-513	-556	-2,038	-521	-501	-482	-534
営業総利益	251	249	205	947	274	227	207	239
リスク費用	-32	-38	-22	-85	-23	-14	-23	-25
営業利益	219	211	183	862	251	213	184	214
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0	0	0
その他営業外項目	3	1	-1	16	4	1	1	10
税引前利益	222	212	182	878	255	214	184	225
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-5	-5	-5	-15	-5	-4	-3	-3
バンクウェスト税引前利益	217	206	177	862	251	210	181	221
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.4	6.6	6.7	6.3	6.3	6.2	6.3	6.4
(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
バンクウェスト (米国プライベート・バンキングの2/3を含む)								
営業収益	720	748	748	2,937	782	716	677	762
営業費用および減価償却費	-474	-505	-548	-2,006	-513	-493	-474	-526
営業総利益	246	243	200	931	269	223	203	236
リスク費用	-32	-38	-22	-85	-23	-14	-23	-25
営業利益	214	206	178	846	246	209	180	211
営業外項目	3	1	-1	16	4	1	1	10
税引前利益	217	206	177	862	251	210	181	221
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	6.4	6.6	6.7	6.3	6.3	6.2	6.3	6.4
(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
保険								
営業収益	662	619	597	2,382	636	679	611	456
営業費用および減価償却費	-311	-297	-326	-1,201	-315	-299	-278	-309
営業総利益	351	322	271	1,181	321	380	333	147
リスク費用	1	-1	-1	2	-1	3	1	-1
営業利益	352	321	271	1,183	320	383	334	146
持分法適用会社投資損益	63	55	54	189	36	44	54	55
その他営業外項目	325	0	1	-3	0	0	0	-3
税引前利益	740	376	326	1,369	356	427	387	199
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	7.7	7.7	7.8	7.5	7.5	7.4	7.4	7.4
(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ウェルス&アセット・マネジメント								
営業収益	753	760	773	2,977	794	718	743	723
営業費用および減価償却費	-569	-567	-576	-2,341	-626	-572	-577	-567
営業総利益	183	193	198	636	168	146	166	156
リスク費用	12	4	14	3	-5	3	3	3
営業利益	195	197	212	639	163	149	169	159
持分法適用会社投資損益	8	15	5	46	13	12	13	8
その他営業外項目	5	14	0	0	0	0	0	0
税引前利益	208	226	217	685	176	161	181	167
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	1.9	1.9	1.9	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む

(単位: 百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
ホールセールバンキング事業 (CIB)								
営業収益	2,658	3,197	3,223	11,469	2,821	2,905	3,056	2,686
営業費用および減価償却費	-1,897	-1,988	-2,506	-8,309	-1,914	-2,022	-2,115	-2,258
営業総利益	761	1,209	717	3,160	907	883	942	428
リスク費用	10	118	54	-217	-70	-74	-46	-28
営業利益	772	1,328	770	2,943	837	809	896	400
持分法適用会社投資損益	-2	5	8	20	9	2	13	-3
その他営業外項目	8	15	0	-1	-5	1	-2	6
税引前利益	778	1,349	778	2,962	841	812	907	403
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	21.4	21.9	22.1	22.2	22.2	22.2	22.0	21.9
コーポレートバンキング								
営業収益	948	1,176	991	3,994	1,071	958	1,037	929
営業費用および減価償却費	-546	-590	-691	-2,451	-567	-591	-601	-693
営業総利益	402	586	299	1,544	504	368	436	236
リスク費用	4	78	57	-292	-115	-79	-42	-55
営業利益	407	664	356	1,251	388	289	394	181
営業外項目	6	19	7	13	14	-3	2	0
税引前利益	413	683	364	1,265	402	285	396	181
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	12.5	12.7	12.6	12.4	12.4	12.3	12.3	12.2
グローバルマーケット								
営業収益	1,234	1,523	1,754	5,650	1,284	1,490	1,558	1,318
うち FICC	801	883	1,174	3,860	838	1,082	1,050	890
うち株式およびプライムサービス	433	640	580	1,791	446	408	509	428
営業費用および減価償却費	-958	-997	-1,424	-4,355	-967	-1,065	-1,139	-1,184
営業総利益	276	526	330	1,295	317	425	419	134
リスク費用	6	39	-3	72	44	5	-4	27
営業利益	281	565	327	1,367	361	430	415	160
持分法適用会社投資損益	-6	-1	0	8	-3	5	11	-4
その他営業外項目	6	3	0	-3	-8	0	-2	6
税引前利益	281	567	326	1,372	350	435	424	163
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	8.0	8.4	8.7	9.0	9.0	9.1	9.0	9.1
証券管理								
営業収益	476	498	478	1,824	466	457	461	440
営業費用および減価償却費	-392	-400	-390	-1,503	-380	-367	-374	-382
営業総利益	84	97	87	321	86	90	87	59
リスク費用	0	1	0	3	2	0	1	0
営業利益	84	99	87	324	87	90	88	59
営業外項目	0	0	0	1	1	1	0	0
税引前利益	84	99	88	325	88	91	87	59
配賦資本(十億ユーロ、年初末)	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7



(単位：百万ユーロ)	3Q17	2Q17	1Q17	2016	4Q16	3Q16	2Q16	1Q16
コーポレート・センター								
営業収益	22	3	358	1,294	70	-45	650	618
営業費用および減価償却費	-382	-300	-308	-1,189	-330	-381	-295	-182
うち事業再編、変革および適応費用	-222	-168	-110	-561	-154	-253	-108	-46
営業総利益	-361	-297	49	105	-260	-426	356	435
リスク費用	-16	-94	-11	-39	-56	13	-5	9
営業利益	-377	-391	38	66	-316	-413	350	444
持分法適用会社投資損益	-10	44	19	83	13	22	28	21
その他営業外項目	-139	2	-8	-204	-136	0	-77	10
税引前利益	-525	-346	49	-55	-440	-391	301	475



連結貸借対照表 — 2017年9月30日現在

(単位: 百万ユーロ)	2017年9月30日	2016年12月31日
資産		
現金および中央銀行預け金	224,917	160,400
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	178,034	123,679
貸出金および売戻契約	211,885	152,242
純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融商品	96,515	87,644
デリバティブ金融商品	241,399	328,162
ヘッジ目的デリバティブ	15,245	18,133
売却可能金融資産	241,972	267,559
金融機関貸出金および債権	46,741	47,411
顧客貸出金および債権	711,589	712,233
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	3,194	4,664
満期保有目的金融資産	4,803	6,100
当期および繰延税金資産	7,727	7,966
未収収益およびその他の資産	129,279	115,967
持分法投資	6,727	6,910
投資不動産	1,924	1,911
有形固定資産	23,776	22,523
無形固定資産	3,120	3,239
のれん	9,653	10,216
資産合計	2,158,500	2,076,959
負債		
中央銀行預金	6,141	233
純損益を通じて公正価値で測定する金融商品		
トレーディング目的有価証券	91,873	70,326
借入金および買戻契約	260,001	183,206
純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融商品	54,660	54,076
デリバティブ金融商品	239,238	318,740
ヘッジ目的デリバティブ	16,624	19,626
金融機関預金	101,164	75,660
顧客預金	793,163	765,953
負債証券	152,910	153,422
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整	2,738	4,202
当期および繰延税金負債	2,922	3,087
未払費用およびその他の負債	103,500	99,407
保険会社の責任準備金	201,438	193,626
偶発債務等引当金	10,464	11,801
劣後債	16,458	18,374
負債合計	2,053,294	1,971,739
連結資本		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	90,580	86,794
親会社株主帰属当期純利益	6,333	7,702
資本金、利益剰余金、および親会社株主帰属当期純利益合計	96,913	94,496
資本に直接認識される資産および負債の変動	3,631	6,169
親会社株主資本	100,544	100,665
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	4,741	4,460
資本に直接認識される資産および負債の変動	-79	95
少数株主持分合計	4,662	4,555
連結資本合計	105,206	105,220
負債および資本合計	2,158,500	2,076,959



代替的な業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM）
フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第 223-1 条にもとづく開示

代替的な業績指標	定義	使用理由
事業部門営業収益	国内市場部門、国際金融サービス部門、ホールセールバンキング事業の営業収益の合計（なお、国内市場部門の営業収益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの 2/3 を含む） BNP パリバ・グループ営業収益 = 事業部門営業収益 + コーポレート・センター営業収益	BNP パリバ・グループの業績を表す指標
PEL/CEL の影響を除く営業収益	PEL/CEL による影響を除く営業収益	PEL/CEL 口座から発生するリスクに対して、口座の存続期間全体にわたり引当金が設定されるが、これらの変動が及ぼす影響を排除した上で、当期の営業収益を表す指標
プライベート・バンキングの 100%を含む リテールバンキング事業の損益計算書	リテールバンキング事業の損益計算書であり、プライベート・バンキング業務の損益計算書の全部を含む	リテールバンキング事業の業績を表す指標であり、プライベート・バンキングの業績の全部を含む（プライベート・バンキングは、リテールバンキング（2/3）とウェルス・マネジメント（1/3）の共同責任のもとに置かれるが、その損益計算書を責任割合に基づき分割する前の 100%を含む）
リスク費用÷期首融資残高（単位：bp）	リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したもの 詳細な算定方法については、決算プレゼンテーション資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」にて開示	事業体が負うリスクレベルの指標であり、融資残高を分母として算定し、%で表示
一時項目を除く株主帰属純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算プレゼンテーション資料のスライド「主な一時項目」にて開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を排除した、BNP パリバ・グループの純利益に関する指標。排除される項目の主なものに、当グループ自身の債務に伴う信用リスクを反映するための調整額（OCA）、デリバティブに関わる債務評価調整額（DVA）に加え、事業改編・再編費用などがある
自己資本利益率（ROE）	ROE の詳細な算定方法については、決算プレゼンテーション資料に添付された「自己資本および永久株主資本利益率」にて開示	BNP パリバ・グループの自己資本利益率を表す指標
有形自己資本利益率（ROTE）	ROTE の詳細な算定方法については、決算プレゼンテーション資料に添付された「自己資本および永久株主資本利益率」にて開示	BNP パリバ・グループの有形自己資本利益率を表す指標

比較分析 – 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

- 企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。
- 事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。
- 連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2 会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算は全て、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用： 従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他経費、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている

事業部門： 以下の 3 部門から成る：

- 国内市場部門：フランス国内リテールバンキング（FRB）、BNL バンカ・コメルシアレ（BNL bc）、ベルギー国内リテールバンキング（BRB）、その他国内市場部門（アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、Compte Nickel、ルクセンブルク国内リテールバンキング（LRB））を含む
- 国際金融サービス部門（IFS）：欧州・地中海沿岸諸国、バンクウェスト、パーソナル・ファイナンス、保険、ウェルス&アセット・マネジメント（WAM）を含む。WAM には、アセット・マネジメント、ウェルス・マネジメント、および不動産管理部門が含まれる
- ホールセールバンキング事業（CIB）：コーポレートバンキング部門、グローバルマーケット部門、証券管理部門を含む

高い利益水準	2
リテールバンキングおよびサービス事業	5
国内市場部門	5
国際金融サービス部門.....	10
ホールセールバンキング事業 (CIB)	15
コーポレート・センター	16
財務構造	17
連結損益計算書.....	19
2017 年度第 3 四半期 – コア事業別業績.....	20
2017 年 1-9 月期 – コア事業別業績.....	21
連結四半期業績の推移.....	22
連結貸借対照表 – 2017 年 9 月 30 日現在.....	31
代替的な業績指標 (ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM)	
フランス金融市場庁 (AMF) の一般規則第 223-1 条にもとづく開示.....	32

本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス (Supervisory Review and Evaluation Process: SREP)」は欧州中央銀行 (ECB) により毎年実施されますが、BNP パリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはおらず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。